

第三学年桜組 社会科学習指導案

指導者 江崎 億

単 元 久留米市の工場のしごと

指導観

- 本学級の子供たちは、これまでに、見学や調査を通して、附属久留米小学校の周辺や久留米市について交通や建物、自然の広がりから土地の使われ方の特色を考えることができるようになってきている。そこで、久留米市の地理的環境を基に特色を考えることができるようになるこの期に本単元を取り上げる。そして、久留米市にある工場の仕事を、交通や自然などの地理的環境や地域の人々の生活と関連付けて、地域の工場の仕事の特色を考えることができるようにする。このことは、自分が暮らす久留米市への誇りや愛情をもつ子供を育てる上からも意義深い。
- 本単元に関しては、第3学年で附属小学校周辺や久留米市の土地の利用や交通、建物の様子について場所による違いがあることを学習してきている。本単元では、これらの上に立って、久留米市では市内の道路や鉄道、筑後川の周辺に様々な製品をつくる工場が分布し、順序よく大量に生産する工程を経て、地域の人々に愛用される製品づくりをしていることを捉えることができるようにする。このことは、第4学年の飲料水の確保や廃棄物の処理により、地域の人々の健康な生活が維持・向上されていることを捉える学習へと発展していく。
- 本単元の指導に当たっては、アサヒシューズ工場が鉄道や筑後川の水利を基に、人々の要望に応える製品の開発や機械と人の分業の工夫で、地域の人々に愛用される靴を作っていることを捉えることができるようにする。特に本時指導に当たっては、まず、導入段階では、「快歩主義」が高い価格でも何回も購入する人がいて売れている事実から、売れ続ける理由について調べるめあてを話し合うことができるようにする。次に、展開段階では、「快歩主義」の特長を明らかにし、新しく開発するために2年を費やした事実から開発した理由を明らかにする課題を立てる。塚本さんが、専門家の助言や工場の技術を用いて、健康に生活したい地域の人々の要望に応える「快歩主義」を開発できたことを捉えることができるようにする。最後に、終末段階では、「快歩主義」を県外の他地域の人も使っている事実から、製品の他地域への広がりについて調べる意欲をもつことができるようにする。

目標

- 1 アサヒシューズ工場は、鉄道や筑後川沿いに立地し、機械と人の分業と人々の要望に応える開発により、地域の人々に愛用される靴作りをしていることを理解し、調べたことを図や白地図にまとめることができるようにする。
- 2 久留米市内の工場について調べたことを白地図に表し、生産工程における機械と人の仕事を比較し、分業する生産の工夫を考えたり、地域の人々の要望と作られている製品の関連を判断したりすることができるようにする。
- 3 アサヒシューズ工場の生産について関心をもち、仕事の順序や工程の工夫、開発や輸送について意欲的に調べ、地域の人々の要望と関連付けて話し合うことにより、久留米市の工場の仕事への誇りや愛情をもつ態度を育てる。

計画（8時間）

- 1 久留米市にある工場について白地図にまとめさせ、アサヒシューズ工場を調べる学習問題を立てさせる。-2
- 2 アサヒシューズ工場の生産の仕事を調べさせ、地域の人々の要望に応じていることを捉えさせる。-----5
(1)靴の生産工程について-----② (2)機械と人の分業について-----①
(3)人々に愛用される理由について-----①本時 (4)原材料や製品の輸送について-----①
- 3 アサヒシューズ工場の生産の仕事を振り返らせ、地域の人々との関連を新聞にまとめさせる。-----1

- 主眼** 1 開発者の塚本さんが、人々の願いに応じて、専門家の助言や工場の技術を生かして、歩きやすく履きやすい靴を開発できたことにより、「快歩主義」が地域の人々に売れ続けていることを捉えることができるようにする。
- 2 「快歩主義」の開発において、塚本さんのしたことに着目し、製品の特長と人々の要望を調べて関連付ける活動を通して、地域のたくさんの人々に「快歩主義」が売れ続けている理由を話し合うことができるようにする。

準備 学習者用端末、塚本さんのインタビュー資料、靴の実物、購入者からの手紙、靴の生産や売り上げの資料

過程

段階	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援						
導入	<p>1 一般の靴と「快歩主義」の値段の違いや、「快歩主義」が売り上げを伸ばし続けている事実、リピーターがいる事実から、「快歩主義」を生み出したことを調べるめあてを話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の靴 2000 円 「快歩主義」 7000 円 ・すでに3足購入しているほど、気に入っている声 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2000 年から売り始めた。 ・今でも売れ続けている。 </div> </div> <p style="text-align: center;">・何回も買っている人がいる ・売れ続けている</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">なぜ、「快歩主義」は売れ続けているのだろう。</p>	<p>○ 「快歩主義」が売れ続けている理由を調べるめあてをつかませるために、2000年に快歩主義が開発されてから、売り上げが伸び続けていることを示すグラフを、古い年代から順に数値を提示する。</p>						
展開	<p>2 製品の特長や開発者の塚本さんがしたことを、資料や実物で調べ、売れ続けている「快歩主義」が生まれた理由を話し合う。</p> <p>(1) 調べる視点について話し合い、見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の特長（よさ） ・使う人 <p>(2) 「快歩主義」の特長を、体験や資料を基にして調べる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【快歩主義の特長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水に浮くほど軽い。 ・脱ぎ履きが簡単。 ・つまずきにくい。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・持ってみると、ほかの靴より軽い。 ・マジックテープなので、簡単に脱いだり履いたりすることができる。 ・履いて歩いてみると、楽に歩ける。 </div> </div> <p style="text-align: center;">使う人にとって、歩きやすく履きやすい靴になっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>「快歩主義」は 2000 年に、2 年かけて生み出された。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> <p>なぜ、「快歩主義」は生み出されたのだろう。</p> </div> </div> <p>(3) 塚本さんのしたことと、地域の人々の要望を関連付け、歩きやすく履きやすい製品を開発したことで、地域の人々に愛用されていることを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>塚本さん</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e0e0e0;">人々の調査</th> <th style="background-color: #e0e0e0;">必要な機能</th> <th style="background-color: #e0e0e0;">実現可能な技術</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>【地域の人々の要望】</p> <p>高齢者が多いため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はきやすい靴 ・かたい靴 ・歩きやすい靴 </td> <td style="padding: 5px;"> <p>【専門家の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足の形に合わせた靴底が必要である。 ・つま先を高くする。 ・かかとを 2mm 傾ける。 </td> <td style="padding: 5px;"> <p>【アサヒシューズの技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底の成型技術 ・よく曲がるゴムの製造 ・手作業の組立技術 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">歩きやすく履きやすい健康靴「快歩主義」の開発</p> </div> <p style="text-align: center; border: 1px dashed black; padding: 2px;">地域の人々が求めている靴を生み出したからこそ、売れ続けている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>塚本さんが、人々の願い、専門家の意見、工場の技術を合わせてつくった靴だから、今も売れ続けている。</p> </div>	人々の調査	必要な機能	実現可能な技術	<p>【地域の人々の要望】</p> <p>高齢者が多いため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はきやすい靴 ・かたい靴 ・歩きやすい靴 	<p>【専門家の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足の形に合わせた靴底が必要である。 ・つま先を高くする。 ・かかとを 2mm 傾ける。 	<p>【アサヒシューズの技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底の成型技術 ・よく曲がるゴムの製造 ・手作業の組立技術 	<p>○ 製品の特長を調べる視点をもたせるために、売れる理由を予想する発問を行う。</p> <p>○ 生産している商品の軽さや履き心地の特長を調べさせるために、実物を触って試したことを共有する場を設定する。</p> <p>○ 「快歩主義」を開発した理由を調べる課題意識をもたせるために、塚本さんから開発に 2 年を費やした話を撮影した動画を提示する。</p> <p>○ 塚本さんが使う人のことを考えて靴の開発を行ったことを捉えさせるために、塚本さんがしたことと、人々の願いを資料を基に関連付ける場を設定する。</p> <p>○ 久留米市で高齢者が増えて、健康を志向する靴が求められたことを説明させるために久留米市の高齢者の数を表すグラフを提示する。</p> <p>○ 「快歩主義」が人々の要望を実現するための開発により完成したことを捉えさせるために、塚本さんのしたことを「製品の特長につながるか」という視点で説明する場を設定する。</p>
人々の調査	必要な機能	実現可能な技術						
<p>【地域の人々の要望】</p> <p>高齢者が多いため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はきやすい靴 ・かたい靴 ・歩きやすい靴 	<p>【専門家の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足の形に合わせた靴底が必要である。 ・つま先を高くする。 ・かかとを 2mm 傾ける。 	<p>【アサヒシューズの技術】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・底の成型技術 ・よく曲がるゴムの製造 ・手作業の組立技術 						
終末	<p>3 本時学習を振り返り、アサヒシューズの製品の出荷先について知り、製品の輸送を調べる次時学習への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠く埼玉県や北海道までアサヒの靴が届けられている。 ・久留米から遠いところまで運ばれているようだ。 ・いったいどうやって運んでいるのだろうか。 	<p>○ 製品の輸送を調べる次時学習への意欲を高めさせるために、利用者のアンケートから、北海道で使用している方のメッセージを提示する。</p>						

本単元の構成

配時	学習活動と予想される子供の反応	教師の具体的な支援																																												
45	<p>1 久留米市の工場の様子を調べて白地図にまとめ、アサヒシューズ工場の仕事について調べるめあてについて話し合う。</p> <p>○ 久留米市の工場の種類や分布を白地図にまとめ、複数の種類の工場が高速道路や鉄道、筑後川の近くに立地していることを考える。</p> <table border="1" data-bbox="225 459 608 645"> <tr> <th colspan="2">【久留米市の工場】</th> </tr> <tr> <td>・杜の蔵</td> <td>・アサヒシューズ</td> </tr> <tr> <td>・三原機工</td> <td>・イナバ軍手</td> </tr> <tr> <td>・丸永製菓</td> <td>・ダイハツ九州</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="632 459 1015 645"> <tr> <th colspan="2">【久留米市の地形や交通】</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・JR や西鉄などの鉄道</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・高速道路（久留米インター）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・筑後川</td> </tr> </table>	【久留米市の工場】		・杜の蔵	・アサヒシューズ	・三原機工	・イナバ軍手	・丸永製菓	・ダイハツ九州	【久留米市の地形や交通】		・JR や西鉄などの鉄道		・高速道路（久留米インター）		・筑後川		<p>○ 久留米市にはたくさんの種類の工場があり、工場の場所には交通網や河川の位置が関係していることを考えさせるために、久留米市の白地図に工場の場所を整理する場を設定する。</p>																												
【久留米市の工場】																																														
・杜の蔵	・アサヒシューズ																																													
・三原機工	・イナバ軍手																																													
・丸永製菓	・ダイハツ九州																																													
【久留米市の地形や交通】																																														
・JR や西鉄などの鉄道																																														
・高速道路（久留米インター）																																														
・筑後川																																														
45	<p>○ 久留米市にはたくさんの種類の工場がある。</p> <p>○ 鉄道や大きな道路沿い、筑後川の近くにも工場が多い。</p> <p>○ 久留米市の工場の種類と生産額や工場働く人の数を調べて、アサヒシューズ工場の生産について調べるめあてを話し合い、調べる視点を明らかにして計画を立てる。</p> <table border="1" data-bbox="225 862 608 965"> <tr> <td>【工場の数】</td> <td>ゴム製品（第6位）</td> </tr> <tr> <td>【働く人の数】</td> <td>ゴム製品（第2位）</td> </tr> <tr> <td>【出荷額】</td> <td>ゴム製品（第2位）</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="632 862 1015 965"> <tr> <th colspan="2">【アサヒシューズ工場】</th> </tr> <tr> <td colspan="2">1922年ゴム靴製造開始</td> </tr> <tr> <td colspan="2">一日に9000足の生産</td> </tr> </table> <p>アサヒシューズ工場では、どのようにして、たくさんの靴をつくっているのだろう。</p> <table border="1" data-bbox="225 1041 608 1144"> <tr> <th colspan="2">【調べること】</th> </tr> <tr> <td>・すごいこと</td> <td>・ふしぎなこと</td> </tr> <tr> <td>・あれ？なぜ？</td> <td>・その他</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="632 1041 1015 1144"> <tr> <th colspan="2">【調べる方法】</th> </tr> <tr> <td>・インタビュー</td> <td>・写真や動画で保存</td> </tr> </table>	【工場の数】	ゴム製品（第6位）	【働く人の数】	ゴム製品（第2位）	【出荷額】	ゴム製品（第2位）	【アサヒシューズ工場】		1922年ゴム靴製造開始		一日に9000足の生産		【調べること】		・すごいこと	・ふしぎなこと	・あれ？なぜ？	・その他	【調べる方法】		・インタビュー	・写真や動画で保存	<p>○ アサヒシューズ工場について調べる課題を話し合わせるために、アサヒシューズの歴史と、靴の製造量を示す資料を提示する。</p> <p>○ 見学の視点について話し合わせるために、仕事の予想を考える場を設定する。</p>																						
【工場の数】	ゴム製品（第6位）																																													
【働く人の数】	ゴム製品（第2位）																																													
【出荷額】	ゴム製品（第2位）																																													
【アサヒシューズ工場】																																														
1922年ゴム靴製造開始																																														
一日に9000足の生産																																														
【調べること】																																														
・すごいこと	・ふしぎなこと																																													
・あれ？なぜ？	・その他																																													
【調べる方法】																																														
・インタビュー	・写真や動画で保存																																													
90	<p>2 アサヒシューズ工場について見学や資料で調べ、人々の要望に応えた靴を開発し、人と機械で分担した生産により、地域の人々に愛用されているといった関わりがあることを話し合う。</p> <p>○ アサヒシューズ工場を見学し、自社工場内で、原材料を加工して「快步主義」を生産している工程を調べる。</p> <table border="1" data-bbox="225 1377 608 1480"> <tr> <th colspan="2">①布をはり合わせる。</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・複数の布を、製品に合わせて貼り合わせる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・貼り方やのりは独自開発している。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="632 1377 1015 1480"> <tr> <th colspan="2">①ゴムをねる。</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・ゴムに化学薬品を入れ、機械を使って何度も練る。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・練り上げを人が確認している。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="225 1491 608 1572"> <tr> <th colspan="2">②布を切って部品をつくる。</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・靴に合わせた形に布を切る。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="632 1491 1015 1572"> <tr> <th colspan="2">②ゴムを切る。</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・靴のサイズに合わせた大きさに切る。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="225 1583 608 1686"> <tr> <th colspan="2">③部品を縫い合わせる。</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・ミシンによる手作業で縫い合わせる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・製品ごとにミシンが異なる。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="632 1583 1015 1686"> <tr> <th colspan="2">③靴底をつくる。</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・ゴムを型に入れて、靴底をつくる。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・ゴムの種類に合わせて人が調整していた。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="225 1720 1015 1778"> <tr> <th colspan="2">④部品と靴底を組み立てる。</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・ライン生産で分担しながら、独自に開発したのりで部品と靴底を組み立てている。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="225 1798 1015 1856"> <tr> <th colspan="2">⑤ゴムを強くする。</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・120度のかまに入れてゴムを変化させて、製品を仕上げている。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="225 1877 1015 1935"> <tr> <th colspan="2">⑥検査をして箱につめる。</th> </tr> <tr> <td colspan="2">・人の手と目で検査して、サイズごとに間違わないように確認して箱につめる。</td> </tr> </table> <p>○ 一つの工程を専門の人が担当して、間違いがないようにしていた。</p> <p>○ 部品づくりから組み立てまでを一つの流れにして短い時間で生産していた。</p>	①布をはり合わせる。		・複数の布を、製品に合わせて貼り合わせる。		・貼り方やのりは独自開発している。		①ゴムをねる。		・ゴムに化学薬品を入れ、機械を使って何度も練る。		・練り上げを人が確認している。		②布を切って部品をつくる。		・靴に合わせた形に布を切る。		②ゴムを切る。		・靴のサイズに合わせた大きさに切る。		③部品を縫い合わせる。		・ミシンによる手作業で縫い合わせる。		・製品ごとにミシンが異なる。		③靴底をつくる。		・ゴムを型に入れて、靴底をつくる。		・ゴムの種類に合わせて人が調整していた。		④部品と靴底を組み立てる。		・ライン生産で分担しながら、独自に開発したのりで部品と靴底を組み立てている。		⑤ゴムを強くする。		・120度のかまに入れてゴムを変化させて、製品を仕上げている。		⑥検査をして箱につめる。		・人の手と目で検査して、サイズごとに間違わないように確認して箱につめる。		<p>○ 生産の工程を順序ごとに整理させるために、見学を生産工程の順序に沿って行い、調べた事実を記録するシートを配付する。</p> <p>○ 実際の様子を捉え、分かったことをまとめて自分の考えを作らせるために、学習者用端末に写真や動画を保存する場を設定する。</p>
①布をはり合わせる。																																														
・複数の布を、製品に合わせて貼り合わせる。																																														
・貼り方やのりは独自開発している。																																														
①ゴムをねる。																																														
・ゴムに化学薬品を入れ、機械を使って何度も練る。																																														
・練り上げを人が確認している。																																														
②布を切って部品をつくる。																																														
・靴に合わせた形に布を切る。																																														
②ゴムを切る。																																														
・靴のサイズに合わせた大きさに切る。																																														
③部品を縫い合わせる。																																														
・ミシンによる手作業で縫い合わせる。																																														
・製品ごとにミシンが異なる。																																														
③靴底をつくる。																																														
・ゴムを型に入れて、靴底をつくる。																																														
・ゴムの種類に合わせて人が調整していた。																																														
④部品と靴底を組み立てる。																																														
・ライン生産で分担しながら、独自に開発したのりで部品と靴底を組み立てている。																																														
⑤ゴムを強くする。																																														
・120度のかまに入れてゴムを変化させて、製品を仕上げている。																																														
⑥検査をして箱につめる。																																														
・人の手と目で検査して、サイズごとに間違わないように確認して箱につめる。																																														

45 ○ アサヒシューズ工場の生産の仕事进行分类し、人と機械が分業をしていることで、安全に大量の生産ができることを話し合う。

【人が行うこと】	【機械が行うこと】
サイズに合わせて縫う。	のりで組み立てる。
履き心地の検査をする。	ゴムの張り合わせる。
ゴムの張り具合を確かめる。	ゴムを縫い合わせる。
	ゴムをつぶして靴底を作る。
	金属が残っていないか検査をする。

細かい仕事や機械では感じ取れない仕事を行っている。

力が必要な仕事や危険な仕事を行っている。

人と機械で分担することで、安全にたくさんの生産ができる。

45 本時 ○ 塚本さんの「快歩主義」開発について調べ、人々の要望に応えた靴づくりにより地域の人々に愛用されていることを話し合う。

<ul style="list-style-type: none"> 一般の靴 2000 円 「快歩主義」 7000 円 8 足購入しているほど、気に入っている消費者の声 	<ul style="list-style-type: none"> 2000 年から売り始めた。 今でも売れ続けている。
---	---

・何回も買っている人がいる ・売れ続けている

なぜ、「快歩主義」は売れ続けているのだろう。

【地域の人々の要望】	塚本さん	塚本さんが人々に健康な生活を送ってもらうために、歩きやすく履きやすい靴を開発したことで、地域の人々に使われている。
【地域の人々の願い】		
【工場の高い技術】		

塚本さんが人々の願い、専門家の意見、工場の技術を合わせてつくった靴だから、今も売れ続けている。

45 ○ アサヒシューズ工場の靴の生産では、原材料と製品を、高速道路で運んでいることを調べる。

【原材料の輸送】	【製品の輸送】（トラック）
<ul style="list-style-type: none"> 天然ゴム→マレーシアやインドネシア（船やトラック） 合成ゴム→三重県（トラック） 	<ul style="list-style-type: none"> ①受注サービス課 ②久留米流通センター ③全国のお店やお客さん

・高速道路を中心に使って、原材料や製品を運んでいる。

・久留米市はインターも近くにあり、運ぶのに便利である。

アサヒシューズ工場では、人々の健康な生活のための靴を開発し、手作業中心に生産して高速道路を使って運ぶことで、いろいろな地域の人々にたくさん使われ続けている。

45 3 ○ アサヒシューズ工場の生産について学習したことを振り返り、久留米市の工場の仕事について、自分の考えを新聞にまとめる。

【工場の生産について】	久留米市のアサヒシューズ工場は、使う人の健康を考えた製品づくりをしていた。
<ul style="list-style-type: none"> 人と機械の分担 人々の要望にあった製品開発 	

【工場の立地や輸送について】	久留米市は、鉄道や高速道路など交通により、工場でする原材料や製品を運びやすい。
<ul style="list-style-type: none"> 鉄道や筑後川の近くにある 高速道路を利用した輸送 	

○ 人の仕事と機械の仕事を分類して分業している工夫を考えさせるために、仕事内容をカード化したデータを学習者用端末に送付し、整理して考える場を設定する。

○ 人々の求める靴を実現していることを確かめさせるために、製品の実物を提示し、体験する場を設定する。

○ 輸送による各地とのつながりを捉えさせるために、日本周辺の白地図を配付し、つながりを整理する場を設定する。

○ 自分の考えと調べた事実を整理してまとめさせるために、学習者用端末に新聞の型を配付する。